

研修参加報告書（2022 九州ブロックTO研修会）

研修会参加者	豊倉和樹 平川英貴 京田真季 後藤みのり
期 間	令和4年8月27日（土）、28日（日）
会 場	熊本県松橋市 ウイングまつばせ（九州ブロック国体）
JBA TO IR	板垣氏、中澤氏

- ・ 30分前にTOクルーでMTGや機材の確認をする。
- ・ 違う県の方とクルーと組むことで、TOマニュアルの徹底を図る。

豊 倉

8月27日 成年男子 熊本県ー長崎県 担当：スコアラー
 28日 成年男子 鹿児島県ー熊本県 担当：スコアラー

〈試合前のMTG〉

マニュアル・コミュニケーションの確認、急なタイムアウト、TF・UFへの準備、EOQ・EOGの確認

〈試合中〉

- ・ マニュアルを意識したコミュニケーションができたが、仕事が重なるときに疎かになる 때가あった。
- ・ TOクルーで連携を図りながら、スムーズな試合運営ができた。

〈試合後のMTG〉

- ・ ブザーの鳴らし方（長さ、タイミング等）について、観客を意識してできると良い。
- ・ 発信力（声の掛け方、合図など）をもっと意識して。
- ・ 確認しているつもりになっているところがあるので、精度を上げてほしい。

〈感想〉

普段しているスコアラーの担当だったので、落ち着いてできた。1試合目の最初からマニュアル通りできるようにしたい。コミュニケーションは意識できているが細かいところの徹底ができていないので、さらに精度を上げていきたい。

平 川

8月27日 成年男子 佐賀県ー長崎県 担当：タイマー
 28日 成年男子 鹿児島県ー熊本県 担当：タイマー

〈反省、IRからのアドバイス等〉

- ・ タイマーストップの際、審判の笛とのタイムラグがないように心がける。
- ・ 後半の相手チームに得点を入れられてからのタイムアウト等の要求に即座に応えられるように、得点されたベンチを見ることを習慣化する。
- ・ タイムアウトの計測忘れを防止するため、測り始めをコールしTOで共有する。

〈感想〉

マニュアルにあるコミュニケーションを特に意識して研修に臨んだが、意識しすぎて優先すべきことが疎かになるケースがあった。マニュアルを熟知した上で、臨機応変に対応できるようにしたい。細やかな指導を受けとても役に立った。今後活かしていきたい。

京 田

8月27日 成年女子 福岡県－熊本県 担当：ショットクロック

8月28日 成年女子 沖縄県－熊本県 担当：タイマー

〈反省、I Rからのアドバイス等〉

- ・ 各Q終わりのカウントダウンをそれぞれでするか、クロスでするかを明確に言葉に出して確認すること。
- ・ ショットクロックは自分が実行することをしっかり言葉で示す。(24秒、14秒、スタート、ストップ等。) それに対しタイマーは確認の上、OKの声を出すこと。
- ・ 小数点のでのショットクロックは、カウントダウンの仕方に慣れていく必要がある。5秒からカウントダウンをしようとする、個人的に慣れておらず難しさを感じた。
- ・ タイマーは、後半(トップリーグでは今後は前半?)ベンチの確認をスコアラーとともに、タイムアウトに備えること。

〈感想〉

タイマー系のどちらも経験できたことで、それぞれの仕事の確認と、どんなコミュニケーションが必要で、どのタイミングで言えばよいのかが両方の視点から確認できました。誰とクルーになっても同じようにコミュニケーションがとれるように、今後もマニュアルに合わせるようにしていけたらと思いました。

後 藤

8月27日 成年男子 宮崎県－福岡県 担当：スコアラー

8月28日 成年女子 沖縄県－熊本県 担当：スコアラー

〈反省、I Rからのアドバイス等〉

- ・ クォーターはじめて、ポジションアローを変えるタイミングが早かった。
- ・ ショットが入ってシューターの番号が見えなかったとき、番号が見えるまでシューターを見てしまったので、スコアラーは「見えない」と言って、タイムアウト等に備えてベンチを確認する。
- ・ ショットを1回目コールしたあと、スコアシートに書きながら再び声に出すことが出来ていない場面があった。
- ・ 1Qでファウルの後に交代が来たあと、スコアへの記録を交代から先にしてしまい、起こった順にする(ファウルを先に記録)必要があった
- ・ 交代やタイムアウトの請求があったら、全員に聞こえるように気付いたと声に出すと、他の人が言わなくていいため、無駄なコミュニケーションがなくなる
- ・ タイムアウトの請求が分かりづらく、気付くのが遅れてしまった。請求は取れるタイミングだったが、鳴らした時にボールがライブになっており、審判と確認してタイムアウトとなった。ゲームリスタートまで時間が長いときは、もう1度両ベンチを確認する。

〈感想〉

このような研修会は初めてでしたので緊張しました。コミュニケーションは徐々に慣れてきて特に後半はだいたいマニュアル通り出来ましたが、スピード感が違う試合になった場合に対応できるか不安ですので、もっと慣れる必要があるかと思います。このような統一のマニュアルがあると、他の方ともやりやすかったです。今後に生かせることが多くありました。

【全体を通じて】

今回初開催となる九州ブロックTO研修会に参加させていただきました。全国研修に比べ九州大会等でこれまでお会いした方が多くいたため、事前の打ち合わせや試合中のコミュニケーションがしやすかったです。コミュニケーション力や発信力も今後レベルアップし、誰とでもクルーが組めるようにしたいです。

Wリーグのサマーキャンプと比べ、九州ブロック国体は国体の出場権がかかっているため緊張感がある中でのTO業務でしたが、大きなミスなく4人とも担当業務を終えることができました。TOのIRからも概ね良い評価をいただき、改めて普段鹿児島で取り組んでいることは間違っていないと感じました。あとは細かい精度を上げることと、マニュアルに書かれていないような突発的な状況での柔軟な対応力が今後の課題だと感じました。

まずは、県内でマニュアルを徹底できるように、今回の経験を県内のメンバーに還元していきたいと思います。

